



第 **90** 期 報告書
平成19年10月1日から平成20年9月30日まで

A photograph of a woman with dark hair, wearing a white long-sleeved shirt, leaning over a table to feed a young child. The child is wearing a light blue and white patterned jacket and is sitting at the table. The woman is holding a spoon with food on it, and the child is looking at the spoon. There are white bowls and plates of food on the table. The background is a bright, slightly blurred indoor setting.

おいしさを
いつも
あなたのもとへ

Since 1886

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

当期の経営環境について

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社第90期(平成19年10月1日から平成20年9月30日まで)の、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、原油・原材料価格の高騰に加え、米国を発火点とする金融問題の発生が、あらゆる分野に影響を与え、不透明感の強い不確実性の高まる経済環境となりました。食品流通業界では家計所得が伸び悩む中で、食料品、燃料価格などの値上がりや「食」の安心・安全に対する信頼を揺るがす事件の影響などにより消費が低迷する厳しい環境下で推移しました。

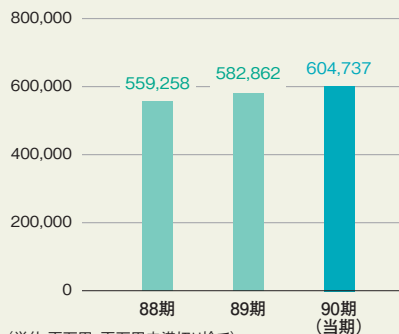
当期の概況について

このような状況下、当社グループはスーパー、コンビニエンスストアなどの主要取引先である組織小売業との取引拡大に加え、新規企業との取引開始により売上高の増加に努めました。また、Eコマースを中心としたウェブネットワーク・ビジネス分野への取組みやライフスタイル支援分野な

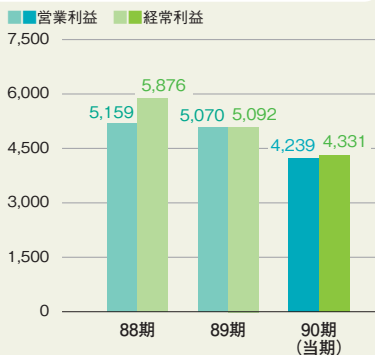
ど、マーケットが拡大している分野へ機能提供を強化推進し、今後の当社グループの収益拡大に繋がる取組みを始めております。

当期の連結業績はスーパー、コンビニエンスストアなどの主要取引先との取引増加および新規企業との取引開始により売上高は前期比較3.8%(218億75百万円)増加の6,047億37百万円となりました。営業利益は前期比較16.4%(8億30百万円)減少の42億39百万円となりました。これは、売上高増加による売上総利益の増加はあったものの、一部価格改定商品の価格転嫁の遅れによる収益の悪化、ギフト需要の不振による収益の低下、新規取引開始時における一時費用の発生、ならびにセンターフィー・運送費等の物流関連費用の上昇によるものです。経常利益は、前期比較15.0%(7億61百万円)減少の43億31百万円となりました。これは、営業利益の減少に加え持分法適用の物流子会社の業績悪化などによるものです。当期純利益は、前期比較24.9%(6億14百万円)減少の18億57百万円となりました。これは、上記理由に加え物流センターの休止による損失引当および繰延税金資産の一部取崩によるものであります。

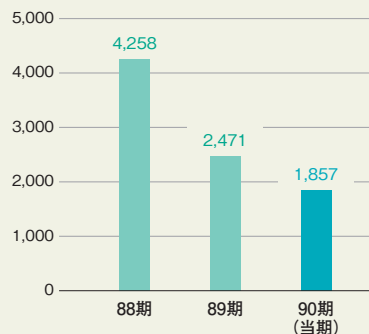
● 売上高 ●



● 営業利益/経常利益 ●



● 当期純利益 ●



次期の見通しについて

わが国の経済は、世界的金融恐慌懸念や株式市場の暴落などにより、企業業績の先行きに不安要因を抱える極めて厳しい経営環境が続くものと思われま

す。食品流通業界におきましても、価格値上げは一巡したものの家計所得が増えない中、消費者の生活防衛意識の高まりにより、依然として厳しい環境で推移するものと思われま

す。このような状況下、引き続き中核事業であるスーパー、コンビニエンスストアなどの取引深耕を一層進めるとともに、ウェブネットワーク分野などライフスタイル対応型ビジネスに本格的に取り組んでまいります。またさらなる経営効率化を図るべくビジネスプロセスの改善・再構築による生産性の向上および物流センターの再編成による物流コストの削減に取り組んでまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高は前期比較2.4%増加の6,190億円を予定しております。利益面では、営業利益46億30百万円、経常利益51億40百万円、当期純利益32億30百万円を見込んでおります。



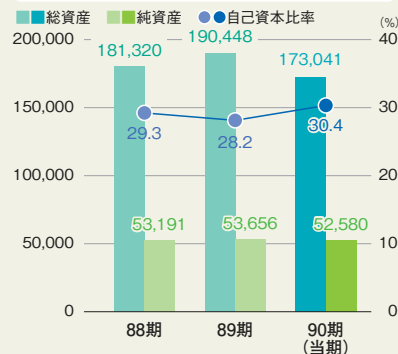
代表取締役
社長執行役員

滝口 泰三

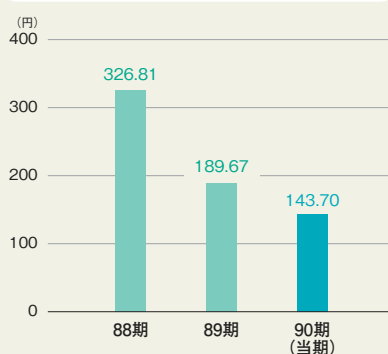
次期の業績予想

売上高	6,190億円	(前期比較 2.4%増)
営業利益	46億30百万円	(前期比較 9.2%増)
経常利益	51億40百万円	(前期比較 18.7%増)
当期純利益	32億30百万円	(前期比較 73.9%増)

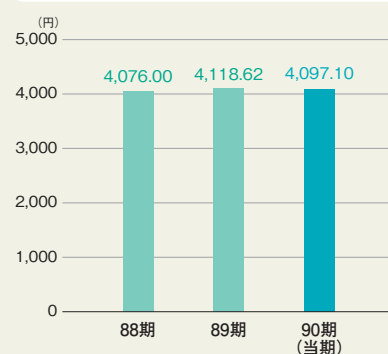
● 総資産／純資産／自己資本比率 ●



● 1株当たり当期純利益 ●



● 1株当たり純資産 ●



Group Companies

子会社・関連会社

(平成20年10月1日現在)



新会社紹介

ISCビジネスサポート株式会社

当社は、平成20年4月に経営の効率化と業務の標準化・集約化への取組みとして、伊藤忠食品グループの財務・経理・債権債務管理等の業務受託を目的とした子会社を設立いたしました。

会社名	ISCビジネスサポート株式会社
資本金	9,000万円
株主構成	当社100%
事業内容	財務・経理・債権債務管理業務および営業事務業務の受託

株式会社カジタク

当社は、共働き世帯の増加や高齢化、核家族化の進展、家事労働に関する価値観の変化などにより、家事代行サービス業は成長産業として期待のできる市場と考え、平成20年9月「家事代行サービス全般」を提供するプラットフォームを構築する(株)カジタクの株式を取得し、子会社化いたしました。これによりギフト事業などとの連携による経営シナジーを得るとともに生活関連の新規ビジネスへの取組みが加速可能と考えております。

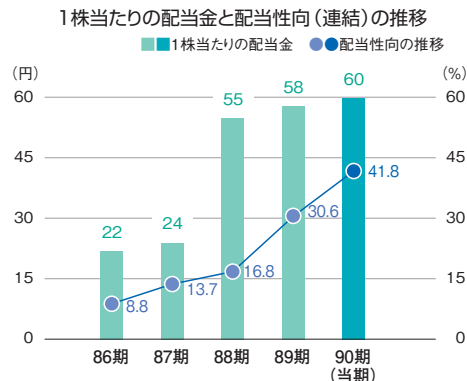
会社名	株式会社カジタク
資本金	9,500万円
株主構成	当社51%、(株)アジルパートナーズ49%
事業内容	生活支援サービス等の運営

Return to Shareholders 株主還元のご案内

●利益配分に関する基本方針●

5期連続で増配

当社グループは、株主の皆様への利益還元を最重要政策と認識し、収益力の向上と財務体質の強化を図りながら、株主様への利益配分拡大に努力することを基本方針としております。このような方針のもと、当期の年間配当金につきましては、1株につき前期比較2円増配の60円とし、期末配当金は中間配当金30円を差引き1株当たり30円とさせていただきます、配当性向(連結)は41.8%となりました。内部留保金の使途につきましては、財務体質の強化ならびに営業力強化に向けての投資とシステム開発などの資金需要に備える所存であります。また、次期の配当金につきましては、年間60円を予定しております。



■株主優待のご案内■

「ちょいす de チョイス」(3,000円相当)
厳選された30種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。ギフト商品の発送は1月を予定しております。



福さ屋無着色辛子めんたい
240g
大山ハム 伝統の逸品



鹿児島産黒豚しゃぶしゃぶ
詰合わせ



山形県産ラフランス秀品
7ー8玉 約2kg

● 連結決算の概要 ●

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成20年9月30日現在	平成19年9月30日現在
● 資産の部		
流動資産	119,891	136,199
固定資産	53,150	54,249
有形固定資産	23,576	23,100
無形固定資産	759	710
投資その他の資産	28,815	30,438
資産合計	173,041	190,448
● 負債の部		
流動負債	117,472	133,470
固定負債	2,988	3,321
負債合計	120,460	136,792
● 純資産の部		
株主資本	50,441	50,236
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,162
利益剰余金	38,966	38,183
自己株式	△ 611	△ 33
評価・換算差額等	2,120	3,402
その他有価証券評価差額金	2,121	3,402
繰延ヘッジ損益	△ 0	—
新株予約権	18	18
純資産合計	52,580	53,656
負債純資産合計	173,041	190,448

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成19年10月1日から平成20年9月30日まで	平成18年10月1日から平成19年9月30日まで
売上高	604,737	582,862
売上原価	544,300	523,614
売上総利益	60,437	59,248
販売費及び一般管理費	56,197	54,177
営業利益	4,239	5,070
営業外収益	1,071	909
営業外費用	980	886
経常利益	4,331	5,092
特別利益	322	318
特別損失	263	295
税金等調整前当期純利益	4,390	5,115
法人税、住民税及び事業税	2,271	2,162
法人税等調整額	261	481
少数株主利益	—	0
当期純利益	1,857	2,471

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(平成19年10月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年9月30日残高	4,923	7,162	38,183	△33	50,236	3,402	—	3,402	18	53,656
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△775	—	△775	—	—	—	—	△775
当期純利益	—	—	1,857	—	1,857	—	—	—	—	1,857
自己株式の取得	—	—	—	△599	△599	—	—	—	—	△599
自己株式の処分	—	0	—	21	22	—	—	—	—	22
連結範囲変更に伴う剰余金の振替額	—	—	△298	—	△298	—	—	—	—	△298
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,280	△0	△1,281	0	△1,281
連結会計年度中の変動額合計	—	0	782	△577	205	△1,280	△0	△1,281	0	△1,075
平成20年9月30日残高	4,923	7,163	38,966	△611	50,441	2,121	△0	2,120	18	52,580

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

● 売上高

スーパー、コンビニエンスストアなどの主要取引先との取引増加および新規企業との取引開始により売上高は前期比較3.8% (218億75百万円)増加の6,047億37百万円となりました。

● 営業利益

営業利益は前期比較16.4% (8億30百万円)減少の42億39百万円となりました。これは、売上高増加による売上総利益の増加はあったものの、一部価格改定商品の価格転嫁の遅れによる収益の悪化、ギフト需要の不振による収益の低下、新規取引開始時における一時費用の発生、ならびにセンターフイー・運送費等の物流関連費用の上昇によるものです。

● 経常利益

経常利益は、前期比較15.0% (7億61百万円)減少の43億31百万円となりました。これは、営業利益の減少に加え持分法適用の物流子会社の業績悪化などによるものです。

● 当期純利益

当期純利益は、前期比較24.9% (6億14百万円)減少の18億57百万円となりました。これは、上記理由に加え物流センターの休止による損失引当および繰延税金資産の一部取崩によるものです。

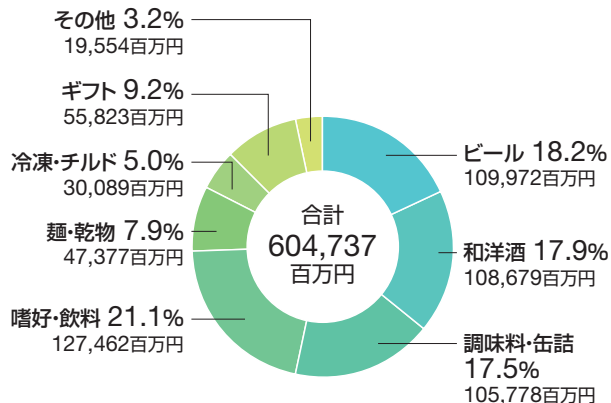
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成19年10月1日から 平成20年9月30日まで	平成18年10月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,292	9,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,813	△ 5,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,375	△ 767
現金及び現金同等物の増減額	△ 8,481	3,782
現金及び現金同等物の期首残高	27,720	23,938
現金及び現金同等物の期末残高	19,238	27,720

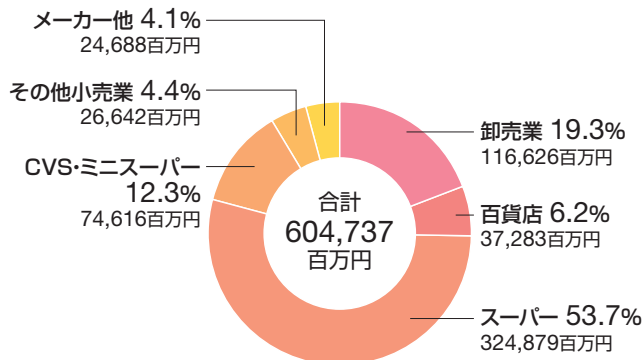
※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 商品分類別売上高構成比



(注) 発泡酒の売上高は「ビール」に、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高は「和洋酒」に含んでおります。

■ 業態別売上高構成比



■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	平成20年9月30日現在	平成19年9月30日現在
● 資産の部		
流動資産	118,592	133,405
固定資産	51,678	52,861
資産合計	170,270	186,267
● 負債の部		
流動負債	115,411	130,227
固定負債	2,294	2,201
負債合計	117,706	132,429
● 純資産の部		
株主資本	50,385	50,436
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,161	7,161
利益剰余金	38,904	38,378
自己株式	△ 603	△ 26
評価・換算差額等	2,159	3,382
その他有価証券評価差額金	2,159	3,382
新株予約権	18	18
純資産合計	52,564	53,838
負債純資産合計	170,270	186,267

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	平成19年10月1日から平成20年9月30日まで	平成18年10月1日から平成19年9月30日まで
売上高	591,950	567,877
売上原価	534,436	512,305
売上総利益	57,513	55,571
販売費及び一般管理費	53,200	50,659
営業利益	4,312	4,911
営業外収益	1,167	953
営業外費用	443	179
経常利益	5,036	5,685
特別利益	259	566
特別損失	1,139	527
税引前当期純利益	4,156	5,725
法人税、住民税及び事業税	2,122	2,098
法人税等調整額	732	330
当期純利益	1,301	3,295

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書 当事業年度(平成19年10月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金								利益 剰余金 合計
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						
平成19年9月30日残高	4,923	7,161	—	7,161	1,230	199	33,200	3,747	38,378	△26	50,436	3,382	18	53,838
事業年度中の変動額														
別途積立金の積立	—	—	—	—	—	—	2,500	△2,500	—	—	—	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	—	△10	—	10	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	△775	△775	—	△775	—	—	△775
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	1,301	1,301	—	1,301	—	—	1,301
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△599	△599	—	—	△599
自己株式の処分	—	—	0	0	—	—	—	—	—	21	22	—	—	22
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,223	—	0	△1,222
事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	—	△10	2,500	△1,962	526	△577	△51	△1,223	0	△1,273
平成20年9月30日残高	4,923	7,161	0	7,161	1,230	188	35,700	1,784	38,904	△603	50,385	2,159	18	52,564

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

会社概要

(平成20年9月30日現在)

商号 伊藤忠食品株式会社
創業年月日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
設立年月日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
資本金 4,923,464,500円
従業員数 連結1,148名 個別765名
事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、
運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する
マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。

本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22

大阪本社

〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
電話(06)6947-9811

東京本社

〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9
電話(03)3270-7620

役員 (平成20年12月19日(取締役会終了時)より下記の新体制となりました。)

代表取締役 会長執行役員	太田 徹	常務執行役員	栗山 勝之
代表取締役 社長執行役員	濱口 泰三	常務執行役員	佐藤 進
代表取締役 専務執行役員	岩城 彰	執行役員	山仲 春男
取締役 専務執行役員	足立 誠	執行役員	山崎 義雄
取締役	青木 芳久	執行役員	勝山 元春
常勤監査役	長谷 茂	執行役員	大釜 賢一
監査役(非常勤)	松本 耕一	執行役員	小嶋 一郎
監査役(非常勤)	増岡 研介	執行役員	黒田 恭章
監査役(非常勤)	藤山 二郎		

Corporate Profile

沿革

1886年 2月 武田長兵衛商店より洋酒食料部門を譲受け、
洋酒食料品雑貨の直輸出入商および卸問屋業の
松下善四郎商店を創業。



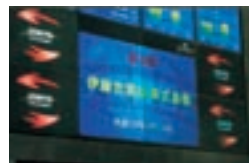
1918年 11月 松下善四郎商店を改組して
(株)松下商店(本社：大阪市)を設立。

1971年 3月 (株)鈴木洋酒店(本社：東京都)を合併し、
商号を松下鈴木(株)に変更。

1982年 10月 伊藤忠商事(株)と資本・業務提携。

1996年 10月 (株)メイカン(本社：名古屋市)と合併し、
商号を伊藤忠食品(株)に変更。

2001年 3月 東京証券取引所市場第一部に上場。



2006年 2月 創業120周年。
中期経営計画「NEXT10 Innovative Solution
Company」策定。

株式の状況

(平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,032,690株
株主数	8,286名(前期末比299名増)

大株主

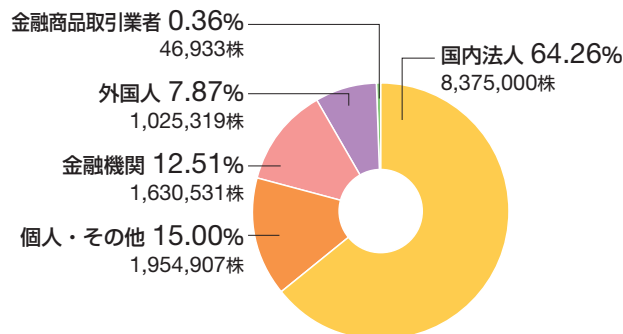
株主名	所有株式数(株)	所有株式比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,219,316	47.72
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	690,000	5.29
アサヒビール(株)	421,500	3.23
(株)日本アクセス	400,000	3.07
ユービーエス エージー ロンドン アカウト アイビーシー セグリゲイテッド クライアント アカウト	348,800	2.68
味の素(株)	339,129	2.60
松下善四郎	302,000	2.32
パークレイズ バンク ビールシー パークレイズ キャピタル セキュリティーズ	258,400	1.98
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託	236,835	1.82
伊藤忠食品従業員持株会	154,200	1.18

(注)1 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

2 みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

3 上記のほか、自己株式が201,315株あります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月

基準日 定時株主総会 9月30日
 期末配当金 9月30日
 中間配当金 3月31日

株主名簿管理人 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号
 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 *公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

お知らせ

各種手続きに必要な用紙のご請求

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求
 および配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、
 下記にて受付しております。

株主名簿管理人のフリーダイヤル

0120-87-2031

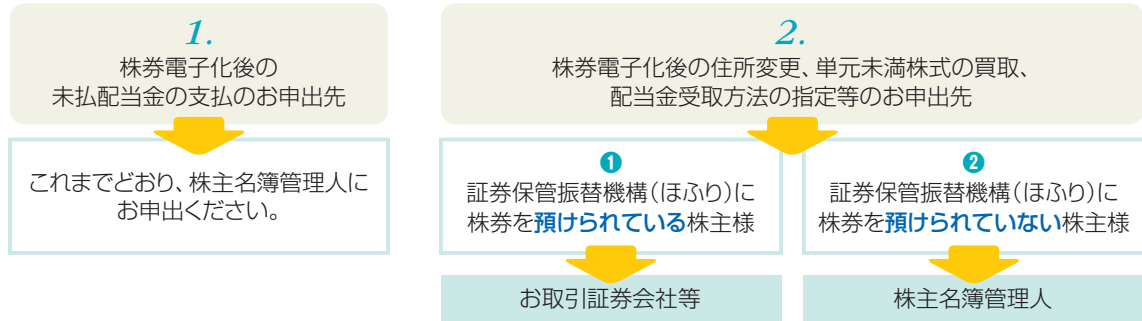
インターネットホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/
 person/p_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

株式電子化について

株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。



なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受理することができるのは、口座開設予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求について

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様の単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご了承ください。

1.
平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は**平成21年1月26日(月曜日)**とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)

2.
平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間は、特別口座に記録された単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の受付停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

ISC 伊藤忠食品株式会社

お問い合わせ

■ 大阪本社

〒540- 8522 大阪市中央区城見 2- 2- 22
電話 (06)6947- 9811

■ 東京本社

〒103- 8320 東京都中央区日本橋室町 3- 3- 9
電話 (03)3270- 7620

■ インターネットホームページURL

<http://www.itochu-shokuhin.com/>



本報告書は、環境保全のため、
大豆油インクで印刷しています。